

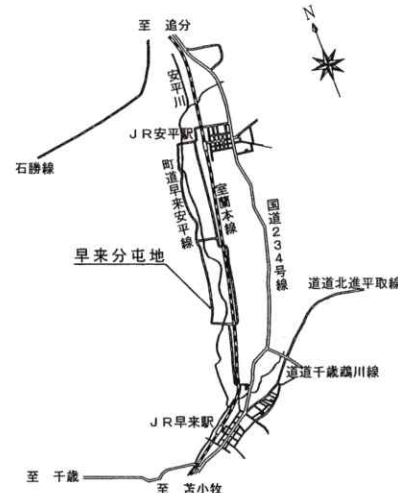
特記仕様書

仕様書番号
第 1 号

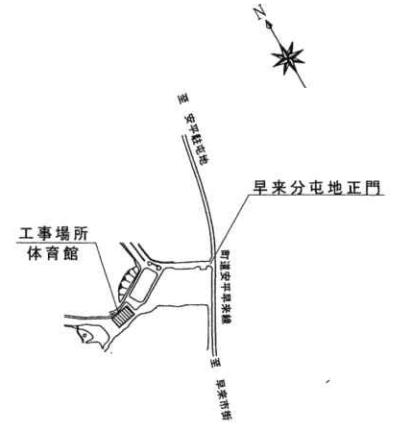
- 1 工 事 名 : 体育館屋根補修工事
- 2 施 工 場 所 : 北海道勇払郡安平町東早来 陸上自衛隊早来分屯地
- 3 工 事 概 要 : 屋根オーバーラフ 833㎡
軒先鉄板張替 130㎡
軒天ボード張替 74㎡

章	項 目	事 項
一 般 共 通 事 項	1 総 則	図面及び本仕様書は、陸上自衛隊早来分屯地において実施する「体育館屋根補修工事」について、必要な事項を規定する。
	2 施 工	本工事は図面、仕様書によるほか「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」に基づき施工するものとする。
	3 疑 義	本仕様書及び図面に明記のないとき、又は疑いを生じたときは、監督官と協議する。
	4 軽 微 な 変 更	現場の納まり状況により、軽微な変更の必要性が生じたときは、監督官と調整し、その指示により施工する。ただし、請負金額等の変更はしないものとする。
	5 材 料	使用材料は、仮設用資材及び再使用を指定された物を除きすべて新品を使用する。
	6 材 料 検 査	使用材料は、工事現場に搬入後監督官の検査を受け、合格したものを使用する、又品質証明書及び出荷証明書等を提出するものとする。
	7 現 場 管 理	(1) 工事現場は、常に諸器材その他の整理及び清掃を行い、火災等の事故防止に努める。 (2) 出入口及び危険性のある場所には、危険標示等の処置を行う。 (3) 工事現場及び許可された場所以外への無断立入等は、厳禁とする。 (4) その他官側の規則等に従うこと。 (5) 請負者は、工事施工に際し安全管理等について特に注意するものとする。
	8 書 類 手 続	(1) 施工に先立ち、請負者は工程表と共に関係書類を監督官に提出し、承認を得るものとする。 (2) 本工事に必要な書類等は、監督官の指示に従い遅滞なく行うものとする。
	9 工 事 写 真	工事写真は、着工前、竣工及び工事中の隠蔽となる箇所、主要な施工段階施工状況その他監督官の指示する箇所を撮影し、工事写真帳(A4一縦)に整理して監督官へ提出する。
	10 発 生 材	金属くずは、監督官の指示する場所へ集積し、発生材調書を監督官へ提出する。その他の廃棄物は、産業廃棄物として関係法令等に基づき適切に処分し、処分完了後産業廃棄物管理票(マニフェスト)E票の写しを提出する。
	11 跡 片 付 け	工事完了に際しては、工事現場の跡片付け及び清掃を行う。
	12 保 証 期 間	本工事完了後、1年間における施工の不備等による損傷は、請負者の負担として無償にて修復しなければならない。
	13 補 償	本工事において既存の施設等に損傷を与えた場合には、速やかに監督官へ報告する。
	14 登 録	請負金額が500万円以上の工事は、工事実績情報システム(CORINS)に登録するものとする。

章	項 目	事 項														
特 記 事 項	1 仮 設 工 事	本工事において使用する足場は外部枠組足場とし、仮設計画図を事前に提出すること。														
	2 承 認 図	施工に先立ち建具の承認図を作成し、監督官の承認を得ること。														
	3 塗 装 工 事	本工事における塗装の種別等は下表のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>塗 料</th> <th>種 別</th> <th>塗 数</th> <th>規 格</th> <th>塗 装 面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗</td> <td>B種</td> <td>2回</td> <td>JIS K 5670</td> <td>ケイカル板面</td> </tr> </tbody> </table>	塗 料	種 別	塗 数	規 格	塗 装 面	合成樹脂エマルジョンペイント塗	B種	2回	JIS K 5670	ケイカル板面				
	塗 料	種 別	塗 数	規 格	塗 装 面											
合成樹脂エマルジョンペイント塗	B種	2回	JIS K 5670	ケイカル板面												
4 屋 根 ・ 金 属 工 事	本工事において使用する材料は下表のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>適 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根(瓦葺きカバー工法)</td> <td>塗装溶融55%7mmミニ亜鉛めっき鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒先(心木無瓦葺き)</td> <td>厚0.4(役物は厚0.5)</td> <td>既設撤去</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィング</td> <td>アスファルトフィング 940</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒天</td> <td>無石棉ケイカル板 厚6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	規 格	適 用	屋根(瓦葺きカバー工法)	塗装溶融55%7mmミニ亜鉛めっき鋼板		軒先(心木無瓦葺き)	厚0.4(役物は厚0.5)	既設撤去	アスファルトフィング	アスファルトフィング 940		軒天	無石棉ケイカル板 厚6	
種 別	規 格	適 用														
屋根(瓦葺きカバー工法)	塗装溶融55%7mmミニ亜鉛めっき鋼板															
軒先(心木無瓦葺き)	厚0.4(役物は厚0.5)	既設撤去														
アスファルトフィング	アスファルトフィング 940															
軒天	無石棉ケイカル板 厚6															

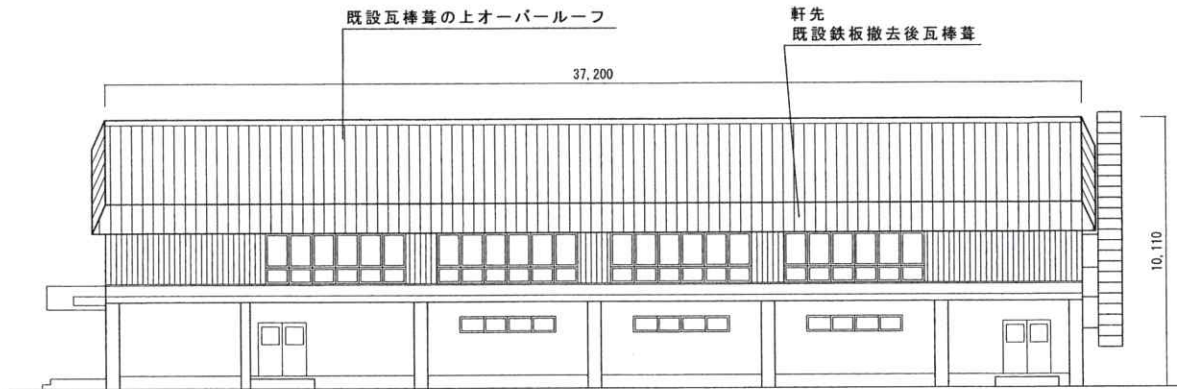


案内図 1:100,000

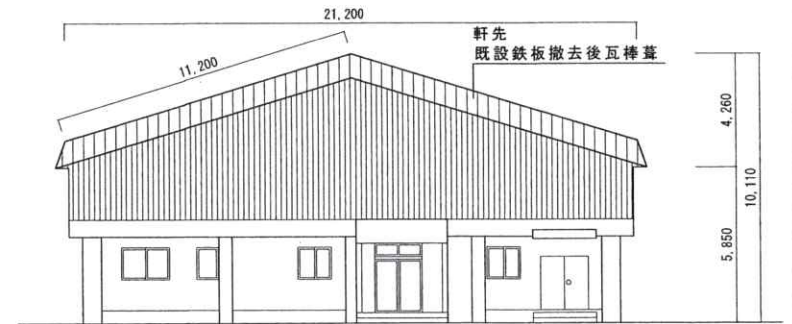


配置図 1:10,000

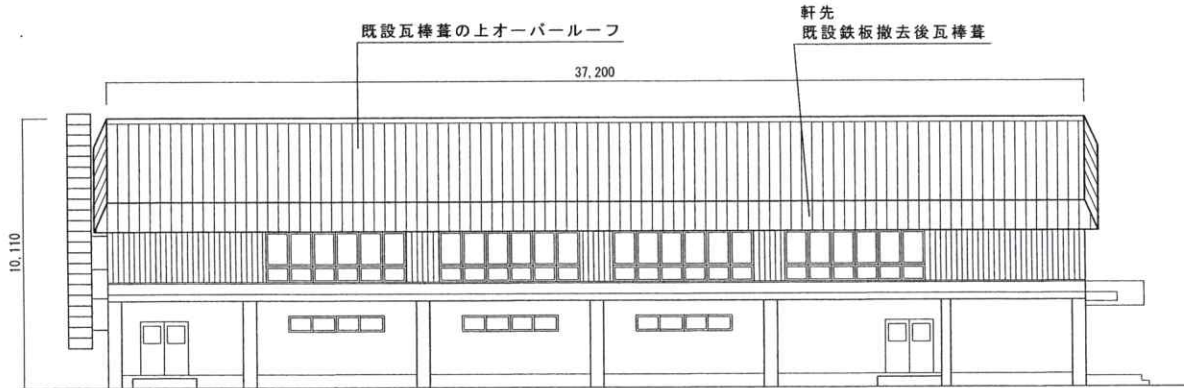
件 名	体育館屋根補修工事			図 番	1 / 3
図 名	特記仕様書・案内図・配置図			縮 尺	図 示
支 処 長	総務科長	営繕班長	給排水木工係長	営繕専門官	設 計
陸上自衛隊早来燃料支処総務科営繕班				令和 6 年 3 月 27 日	



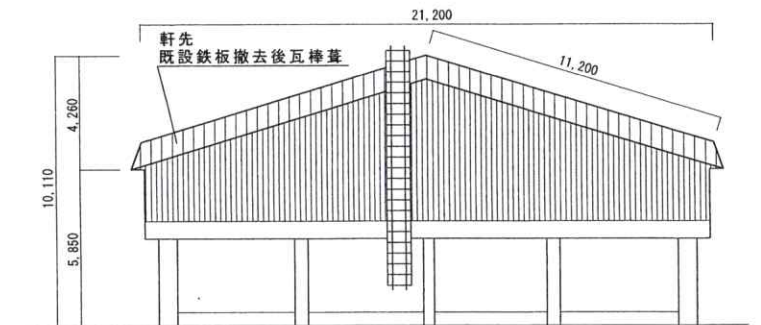
北側立面図



東側立面図

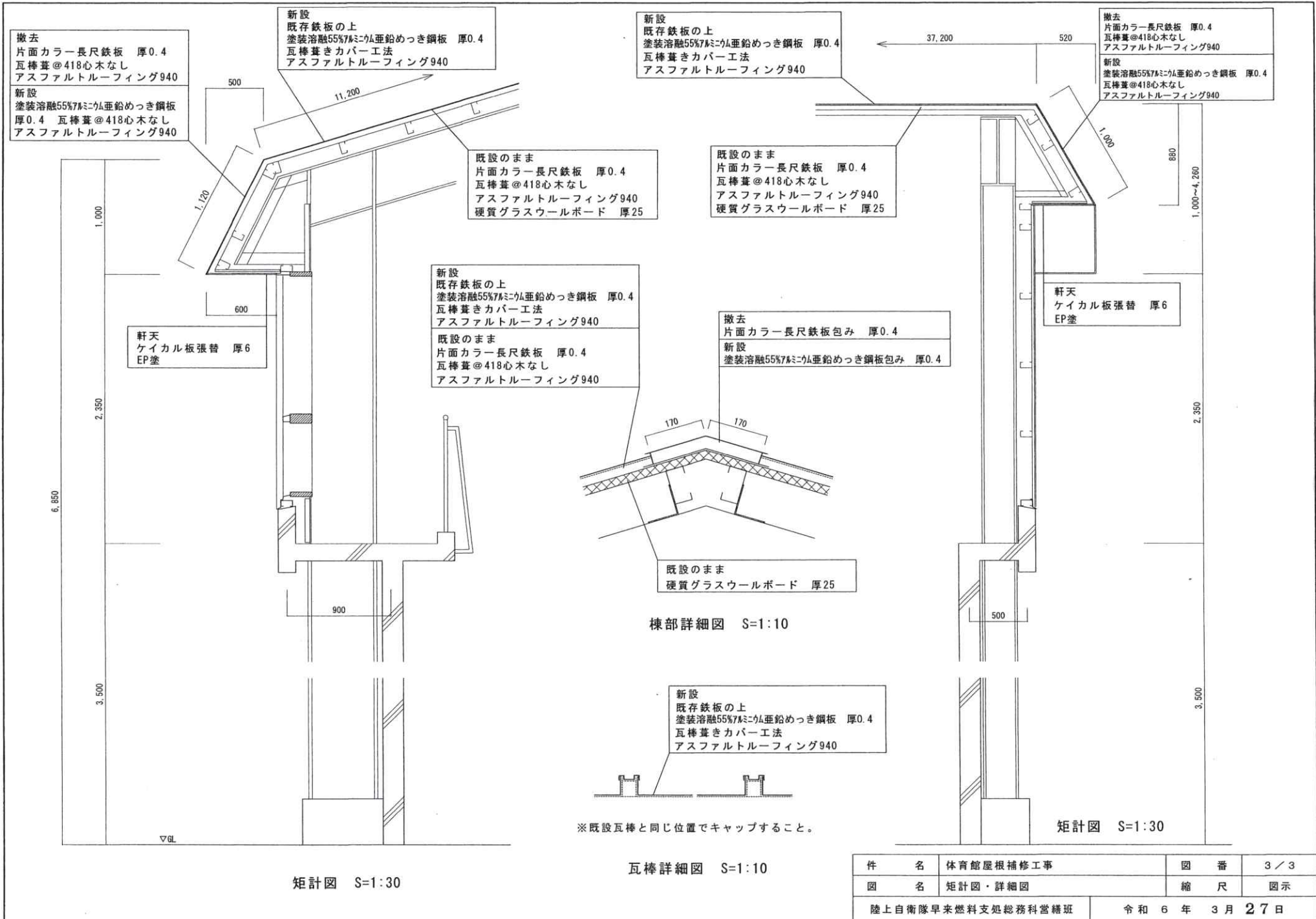


北側立面図



東側立面図

件名	体育館屋根補修工事	図番	2 / 3
図名	立面図	縮尺	1/200
陸上自衛隊早来燃料支処総務科営繕班		令和 6 年 3 月 27 日	



撤去
片面カラー長尺鉄板 厚0.4
瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940

新設
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板
厚0.4 瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940

新設
既存鉄板の上
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板 厚0.4
瓦棒葺きカバー工法
アスファルトルーフィング940

新設
既存鉄板の上
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板 厚0.4
瓦棒葺きカバー工法
アスファルトルーフィング940

撤去
片面カラー長尺鉄板 厚0.4
瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940

新設
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板 厚0.4
瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940

既設のまま
片面カラー長尺鉄板 厚0.4
瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940
硬質グラスウールボード 厚25

既設のまま
片面カラー長尺鉄板 厚0.4
瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940
硬質グラスウールボード 厚25

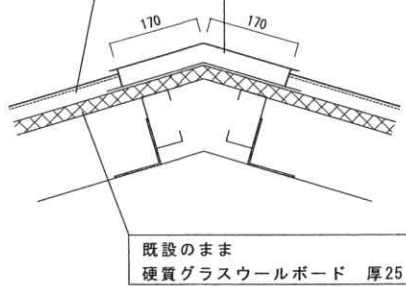
新設
既存鉄板の上
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板 厚0.4
瓦棒葺きカバー工法
アスファルトルーフィング940

既設のまま
片面カラー長尺鉄板 厚0.4
瓦棒葺@418心木なし
アスファルトルーフィング940

撤去
片面カラー長尺鉄板包み 厚0.4

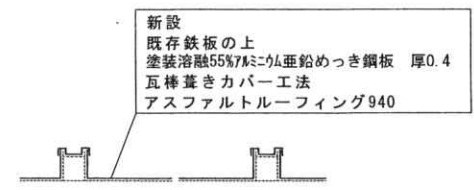
新設
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板包み 厚0.4

軒天
ケイカル板張替 厚6
EP塗



既設のまま
硬質グラスウールボード 厚25

棟部詳細図 S=1:10



新設
既存鉄板の上
塗装溶融55%7#ミニム亜鉛めっき鋼板 厚0.4
瓦棒葺きカバー工法
アスファルトルーフィング940

※既設瓦棒と同じ位置でキャップすること。

瓦棒詳細図 S=1:10

矩計図 S=1:30

矩計図 S=1:30

件名	体育館屋根補修工事	図番	3 / 3
図名	矩計図・詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊早来燃料支処総務科営繕班		令和6年3月27日	